

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

事務事業名	全国適応指導教室連絡協議会参画事業				□ 実施計画事業	所属部局 教育委員会	単位番号 12122
	基本政策 基 本 策 策	V 23 36	個性と文化を育む都市づくり 学校教育の充実 「生きる力」を育む学校教育の推進				
			予算科目 会計 01 名称 一般 款 10 項 01 目 02 細目 020 細々目 58				
事業区分 事業区分 事業区分	□ 国の制度による義務的事業 □ 県の制度による義務的事業 □ 市の制度による義務的事業 ☑ 義務化されている協議会等の負担金						
		事業期間 事業期間 事業期間	☑ 单年度のみ □ 单年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠			
事業の内容 事業の内容 事業の内容	事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
		項目(細節) 負担金	金額(千円) 5	項目(細節) 金額(千円)	計 5		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	昨年度と同様。
25年度活動予定	実績を踏まえ支払う。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
適応指導教室設置市町村	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
適応指導教室についての情報収集や情勢の研修	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
入室児童生徒の生活面・学習面の向上を図る	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	名称 ア:市町村	単位 教室数
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
	名称 ア:市町村	単位 市
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称 ア:情報・知識の共有	単位 人
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称 ア:相談可能な大人の数	単位 人

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)	
年間 事業 費用 トータル コスト	財源 内訳 人件 費	国庫支出金								
		千円								
		県支出金								
		千円								
		地方債								
		千円								
		その他								
		千円								
		一般財源								
		千円	5	5	5	5	0	0	0	
		事業費計 (A)	千円	5	5	5	5	0	0	
		正規職員従事人員	人							
		延べ業務時間	時間							
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	5	5	5	5	0	0	
活動指標		ア:教室数	1.0	1.0	1.0	1.0				
対象指標		ア:市	1.0	1.0	1.0	1.0				
成果指標		ア:人	2.0	2.0	2.0	2.0				
上位成果指標		ア:人	2.0	2.0	2.0	2.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	: 本事業の開始時期は不明であるが、全国で不登校児童生徒が増加した為、全国各地で適応指導教室が解説。そこで連絡協議会が発足したと思われる。本市の適応指導教室は、平成18年度から開始。	
	② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	
	: 全国的に不登校児童生徒は、増加傾向にある。また本市の適応指導教室(ウイング教室)に通う生徒も増加している。	
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?		

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	□ 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】	
	: 適応指導教室事業での取り組み方には行っているが、協議会参画については取組を行っていない。	
	② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 24年度に実施した改革改善の内容		

事務事業名	全国適応指導教室連絡協議会参画事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	-------------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意圖が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 適応指導教室の運営や不登校問題への取組については、他県・市の状況や最新情報を得ることは、担当職員の資質の向上につながり、相談事業の充実、心の教育の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 本連絡協議会に参画することで、担当職員の研修の場の確保ができ本市の適応指導教室の運営の充実につながり、本市の関与は必要である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 本連絡協議会に参画することで、全国各地の最新情報を得ることができる。したがって本事業の参画は妥当だと思われる。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 研修会に参加し得られた情報は、本市の適応指導教室に生かされている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 本事業の休止・廃止は研修の場を失うことになり今後の適応指導教室の運営に影響してくる。 左に同じ。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 全国の自治体からの負担金であり、この負担金で団体活動が成り立っているので削減の余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費はない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 本連絡協議会は、全国の自治体からの負担金でなっているために、受益者負担は妥当ではない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適応指導教室の設置については、市独自で行っているのは県内でも甲府市と本市だけであり、全国組織の連絡協議会の研修参加等については、適応指導教室の運営に有益である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																			
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
			コスト水準																	
		削減	維持	増加																
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
低下	<input type="checkbox"/>																			
(2) 改革改善案について																				
① ② ③																				
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																			
① ② ③	<input type="checkbox"/> 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ⑫ <input type="checkbox"/> コスト削減優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ⑯																			